



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 日本ルツボ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5355 URL <https://www.rutsubo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 有司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 岡本 聡

TEL 03-3443-5551

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,586	4.8	317	3.0	392	11.3	307	43.2
2025年3月期第3四半期	7,236	0.5	327	74.4	352	75.0	215	44.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 581百万円 (163.1%) 2025年3月期第3四半期 221百万円 (20.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	46.38	
2025年3月期第3四半期	32.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	11,841	6,064	51.2	912.65
2025年3月期	11,216	5,581	49.8	842.11

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 6,064百万円 2025年3月期 5,581百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		17.00	17.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	5.3	550	16.2	600	21.9	400	14.1	60.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	7,045,200 株	2025年3月期	7,045,200 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	399,855 株	2025年3月期	417,355 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	6,638,345 株	2025年3月期3Q	6,627,845 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復が継続しました。先行きについては、各種の政策効果もあって景気の緩やかな回復が継続していくことが期待されますが、内外の政治・経済の動向や人手不足・賃上げ、物価高の影響などを十分に注視する必要があります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、足元で生産台数が前年比減少しており、米国の通商政策による輸出の落ち込みで収益改善に足踏みがみられるなど、先行き不透明な状況にあります。

鉄鋼産業は、建築・自動車向けを中心に需要が減少傾向にあり、また粗鋼生産量の減少傾向が継続するなど、予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は75億8千6百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。利益面では、営業利益は3億1千7百万円（前年同四半期比3.0%減）、経常利益は3億9千2百万円（前年同四半期比11.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、株式会社中橋保温工業所の株式取得に伴い負ののれん発生益3千7百万円を特別利益に計上したこともあり、3億7百万円（前年同四半期比43.2%増）となりました。

#### ①事業の分野別業績

鑄造事業は、鑄造市場の稼働率低下の影響を受け、売上高32億3千3百万円（売上高比率42.6%）と前年同四半期比2.4%減少いたしました。

鉄鋼事業は、当社がメンテナンスを担当する高炉での受注減により、売上高7億4千5百万円（売上高比率9.8%）と前年同四半期比10.6%減少いたしました。

工業炉事業は、大型案件の進捗が寄与し、売上高10億8千5百万円（売上高比率14.3%）と前年同四半期比65.8%増加いたしました。

環境・工事業は、民間焼却設備を中心に安定した受注を確保し、売上高18億8千1百万円（売上高比率24.8%）と前年同四半期比0.3%増加いたしました。

不動産事業は、売上高2億8千1百万円（売上高比率3.7%）と前年同四半期比0.1%減少いたしました。

塗料循環装置事業は、受注案件の進捗の影響等もあって、売上高3億5千8百万円（売上高比率4.7%）と前年同四半期比28.8%増加いたしました。

#### ②セグメントの業績

耐火物事業の売上高は39億7千2百万円（売上高比率52.4%）と前年同四半期比4.5%減少し、営業利益は1億9千9百万円と前年同四半期比48.3%減少いたしました。エンジニアリング事業の売上高は29億7千3百万円（売上高比率39.2%）と前年同四半期比18.3%増加し、営業利益は4億4千5百万円と前年同四半期比23.7%増加いたしました。

不動産事業の売上高は2億8千1百万円（売上高比率3.7%）と前年同四半期比0.1%減少し、営業利益は1億5千6百万円と前年同四半期比6.6%減少いたしました。その他事業の売上高は3億5千8百万円（売上高比率4.7%）と前年同四半期比28.8%増加し、営業利益は7百万円（前年同四半期は7千4百万円の営業損失）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比3億9千4百万円（5.9%）増加し、70億5千1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比2億2千9百万円（5.0%）増加し、47億8千9百万円となりました。主として、新規の製造設備を取得したことによるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6億2千4百万円（5.6%）増加し、118億4千1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比9千2百万円（2.4%）減少し、37億8千8百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比2億3千2百万円（13.0%）増加し、19億8千8百万円となりました。主として、長期借入れによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比4億8千3百万円（8.7%）増加し、60億6千4百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は51.2%（前連結会計年度末は49.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）につきましては、2025年5月8日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想から修正を行っておりません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示する予定です。

（注）上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。